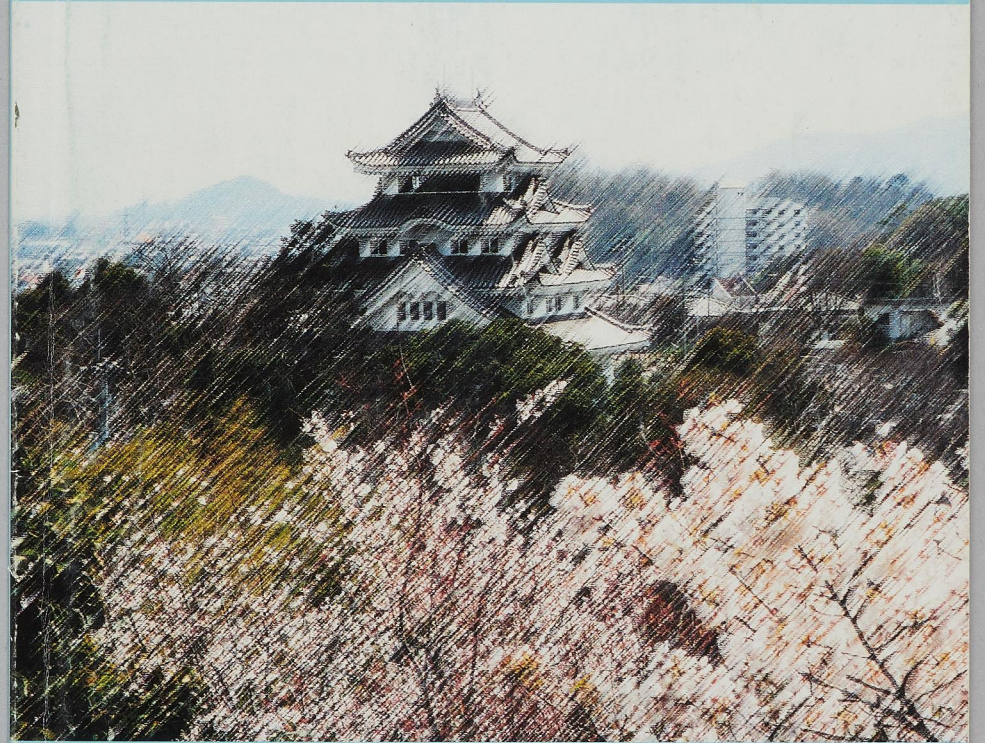


わたしたちの町 川島



川島町社会科副読本編集委員会

わたしたちの町 川島

第 3 学 年 用

第 4 学 年 用



町章



学島小学校校章



川島小学校校章

3年生・4年生のみなさんへ

わたしたちのすむ川島町は、南に四国山地、北に吉野川をながめる、美しい自然にめぐまれた町です。東西に広がる川島・学地いきでは、土地やくらしのようすに、多少のちがいはみられますが、わたしたちのそ先は、この土地を大切に守ってくらしてきました。自然のようすや人びとのくらしを調べても、苦ろうや努力のあとがよくわかります。

今では、人びとの仕事の様すもかわり、すべてにべんりになって、生活がずっとよくなりました。これからも、みんなの努力により、さらに住みよい町になっていくことでしょう。

みなさんは、社会科で、自分たちの町「川島町」について勉強します。この本には、みなさんが勉強しやすいように、川島町のことをたくさん調べてのせました。教科書の勉強にあわせて、しっかり役立ててください。

も く じ

① わたしたちの町のようす

1

- 1 学校のまわりのたんけん……………1
 - (1) 空から見た川島町……………1
 - (2) 空から見たようす (川島小学校ふきん) ……2
 - (3) 空から見たようす (学島小学校ふきん) ……2
 - (4) 川島小学校のまわり……………3
 - (5) 学島小学校のまわり……………4
- 2 たんけんに出発……………5
 - (1) 川島小学校のまわりのようす……………5
 - (2) 学島小学校のまわりのようす……………6
 - (3) お城があるわたしたちの町……………7
 - ① 徳島県の中の川島町……………9
 - ② 川島町のようす……………9

② 町の人々の買い物

10

- 1 買い物しらべ……………10
 - (1) 家の買い物しらべ……………10
 - (2) 買い物地図づくり……………12
- 2 買い物のくふう調べ……………13
 - (1) スーパーマーケットをたずねて……………13

③ 工場の仕事

15

- 1 ベアリング工場の仕事……………15
 - (1) 工場について……………15
 - (2) ベアリングについて……………15
- 2 けんざい工場の仕事……………17

- (1) けんざい工場をたずねて……………17
- (2) ドアのできるまで……………17

④ しぜんをいかした仕事

19

- 1 やさいづくり……………19
- 2 あたご柿づくり……………19
- 3 ぶどうづくり……………20

⑤ 安全なくらし

21

- 1 交通事故をふせぐ……………21
 - (1) 川島けいさつしょ……………21
 - (2) 活動のようす……………22
 - (3) 児島ちゅうざい所……………24
 - (4) 麻植郡内での交通事故……………24
 - (5) 交通事故ゼロをめざして……………25
- 2 火事をふせぐ……………26
 - (1) 学校の消防しせつをさがそう……………26
 - (2) 地域の消防しせつをさがそう……………27
 - (3) 消防団って何だろう……………28
 - (4) 消防しよをたずねて……………29
 - ① 消防しよのしくみ……………29
 - ② 火事を消すしくみ……………30
 - ③ 消防しよのしごと……………30

⑥ 健康なくらしとまちづくり

31

- 1 水はどこから……………31
 - (1) ふえる水の使用量……………31
 - (2) じょう水場……………31
 - (3) 水道のはじまりとこれからの水道……………33
- 2 ごみはどこへ……………34

- (1) ごみのしゅるいとゆくえ.....34
- (2) 中央美化センターをたずねて.....35
 - ① せいそう工場の役目.....35
 - ② ごみのしよりとくふう.....35
- (3) ごみをへらすくふう.....37

◇ 昔のくらしとまちづくり 38

- 1 まちの昔をみつけよう.....38
- 2 昔の道具調べ.....40
- 3 ため池をつくる.....42
 - (1) 大正池のあるところ.....43
 - (2) 新池をつくる.....43
 - (3) 大正池とは.....44
 - (4) 峯八のししがき.....45

◇ 川島町のいせきと自然 46

◇ 北海道仁木町と川島町 50

- (1) 姉妹町として.....50
- (2) 仁木町について.....50

折り込み

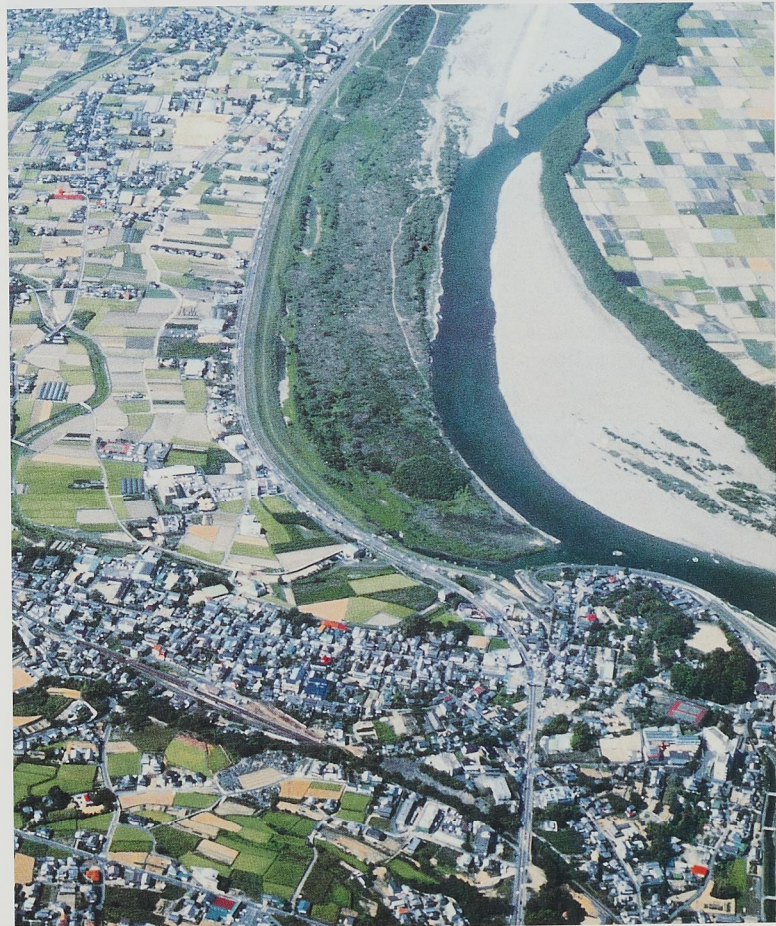
川島小学校ふきの白地図

学島小学校ふきの白地図

① わたしたちの町のようす

1 学校のまわりのたんけん

(1) 空から見た川島町



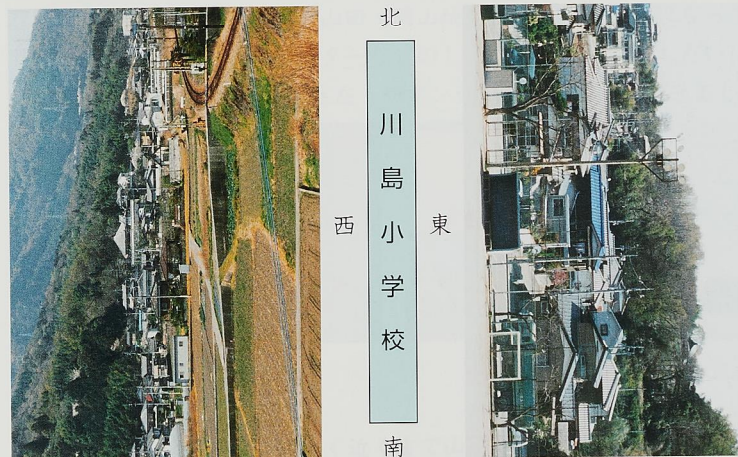
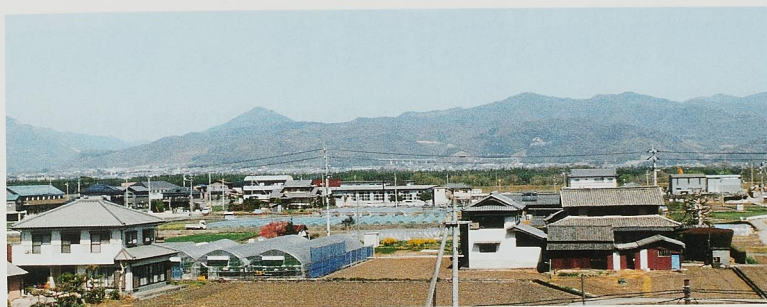
(2) 空から見たようす (川島小学校ふきん)



(3) 空から見たようす (学島小学校ふきん)



(4) 川島小学校のまわり



(5) 学島小学校のまわり



北
学島小学校
西 東
南



2 たんけんに出発

地図を見ながら、町へたんけんにでかけてみましょう。土地のようすやつかわれ方、かわってきているところなどを発見できるかな。

(1) 川島小学校のまわりのようす

●東の方のようす

川島小学校の東の方には、わたしたちがよく利用する町立図書館や東公民館・川島ようちえん・東ほいく所があります。

川島神社から南にのびる道路ぞいにはたくさんの家や商店がならび、JR阿波川島駅も見えます。山田・岡山地区は、小高い台地になっており、川島高校や中央美化センターなどのしせつがあります。しだいに田や畑はへっており、かわって住たくやマンションなどがふえてきました。



(川島町立図書館)



(川島町公民館)

●南の方のようす

川島小学校の南の方には、すぐ近くまで山がせまってきています。山ぞいには、石がきのある住宅があります。

●西の方のようす

川島小学校の西の方には、川島中学校があります。その近くには川島町役場や、きん労者体育館などの公共しせつもたくさんあります。このあたりには田や畑が広がっていますが、さい近は住たくがふえてきました。

●北の方のようす

川島小学校の北の方には、吉野川にそって、国道192号線が走ってい

ます。国道ぞいには、川島けいさつしょや、ゆう便局、合同庁しゃなど国や県のしせつも多いです。

(2) 学島小学校のまわりのようす

●北の方のようす

学島小学校の北の方には、県道が走っていて家がたくさんあり、ベアリング工場があります。さらに、北の方を国道192号線が走っていて、麻植郡農業協同組合川島支所やけんざい工場、コンクリートせい品などの工場があります。また、新しい店や住たくができています。吉野川には、阿波^{あわ}麻植^{まうゑ}大橋があり、市場町とむすばれています。



●東、西、南の方のようす

東や西の方には、おもに田が広がっています。田では、米ややさいなどをつくっています。ビニルハウスも見られます。また、東の方には住たくがたくさんできています。

南の方には、ぶどう畑が見られます。また、山の方では、あたご柿^{がき}をつくっています。

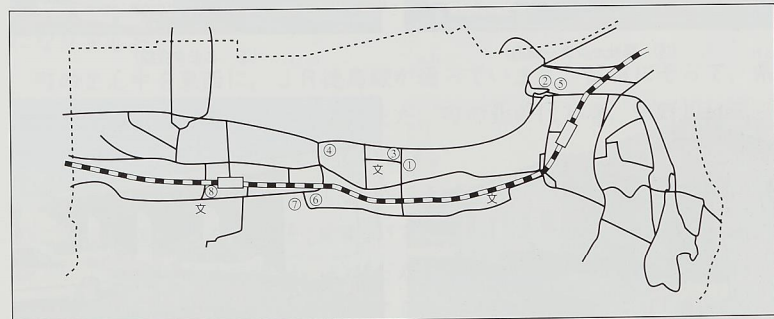


(3) お城があるわたしたちの町



(川島城から町の南の方を見たけしき)

川島町には、むかしのおもかげを残すお城があり、町のシンボルとなっています。このほかにも、川島町には、人びとのくらしを高めるためのいろいろな公共しせつがあります。町のしせつが、わたしたちとどのようにつながりがあるか、みんなで考えてみましょう。



(川島町のおもな公共しせつがあるところ)



(1) 川島町役場



(2) 川島城



(3) 勤労者体育館



(4) 農村環境改善センター



(5) 福祉センター城山



(6) こだま会館

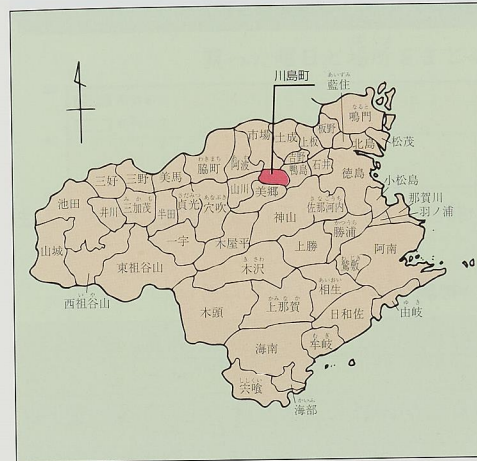


(7) 児童館



(8) 老人福祉センター

① 徳島県の中の川島町



わたしたちの住んでいる川島町は、徳島平野を流れる吉野川中流の南岸に位置しています。

東は鴨島町、西は山川町、南は美郷村と、北は吉野川をはさんで阿波郡市場町ととなりあっています。

南には、四国山地につながる前山が広がり、東西に長い町です。

県庁所在地の徳島市からは約22km西にあります。国道192号線やJR徳島線で、県内のさまざまな地いきと結ばれています。

② 川島町のようす

町の北がわには、吉野川が、西から東に流れ、南には、四国山地があります。町の東の方、神後・岡山・山田にかけては台地になっています。吉野川にそって平野があり、田が広がっています。西の学地区にはぶどう畑が多くみられます。このごろは、ビニルハウスも多くみられるようになりました。

町のまん中を東西に、JR徳島線が通っています。鉄道にそって、県道川島・山川線が走っています。また、町の北のはしを、吉野川にそって、国道192号線が東西に走っています。

多くの家は、県道などの広い道路にそってたてられていましたが、このごろは、国道にそって新しい店ができたり、田や畑であった所にも、新しいじゅうたくや工場が、だんだんとできています。さいきんでは、大きなアパートやマンションもたてられるようになり、田や畑はしだいに少なくなっています。

2 町の人々の買い物

1 買い物しらべ

(1) 家の買い物しらべ

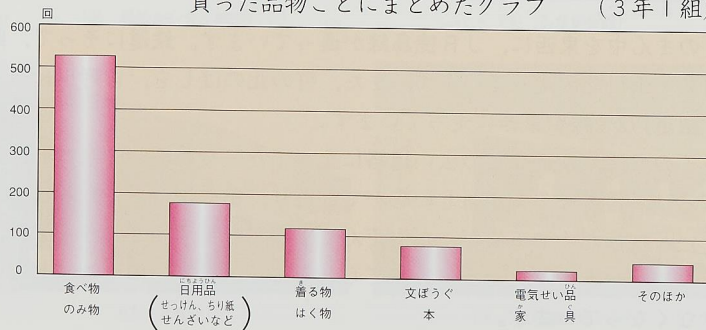
自分の家では、どんな買い物のしかたをしているのかを、調べてみましょう。

一週間の買い物調べカード (あきら君)

	買ったしなもの	買った店	店のあるところ
5(月)	電球 おかし どうふ	ざっかや	近所
6(火)	本 ノート えんぴつ けしごむ	本文屋	川島町
7(水)	くつ下 下着 ハンカチ	洋品店	川島町内
8(木)	肉 やさい くだもの たまご パン かまぼこ おかし	スーパーマーケット	市場町
9(金)	バケツ 写真	金物屋 写真屋	川島町内
10(土)	さかな やさい ジュース ソーセージ どうふ ティッシュペーパー	スーパーマーケット	山川町
11(日)	スカート ふく くつ ケーキ	デパート	徳島市

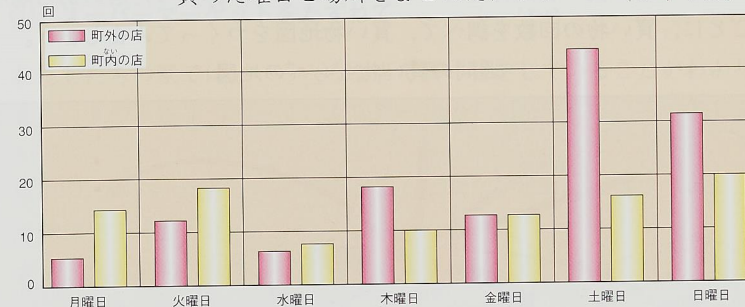
学級全員のカードをもちよって、どんな物を買っているのかをまとめて、グラフを作ってみました。

買った品物ごとにまとめたグラフ (3年1組)



次に、いつ、どこで買い物をしているかをまとめて、グラフに表しました。

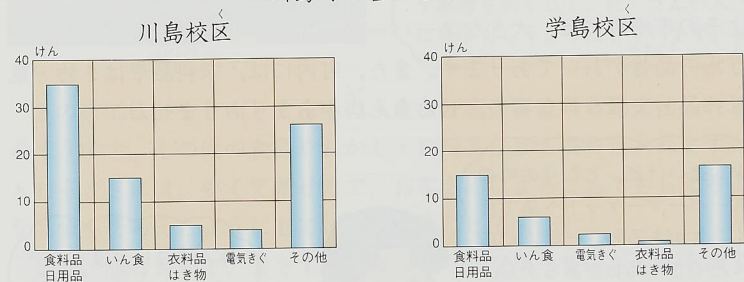
買った曜日と場所をまとめたグラフ (3年1組)



町内の店で、どんな品物を買っているのでしょうか。川島町内の店のしゅるいを調べてみました。

(平成13年12月、川島町商工会調べ)

川島町の店のしゅるい



(平成13年12月、川島町商工会調べ)

近所に食べ物や日用品の店があるので、すぐ間にあるので、べんりだわ。

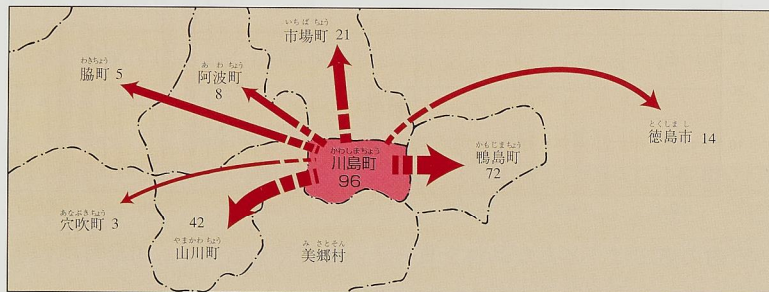


毎日ひつようなものがすぐ買えるでしょ。わたしもおつかいをたのまれたり、おやつを買に行ったりするのよ。

(2) 買い物地図づくり

どこの店へ買い物に行くことが多いでしょうか。買った店のある場所ごとに、買い物の回数を調べて、買い物地図をつくってみましょう。

一週間の買い物しらべの地図



わたしたちの家では、町内だけでなく、鴨島町や山川町・市場町などのとなり町や、徳島市などの遠いところにも買い物に行っていることがわかりました。

よその市や町には、大きなスーパーマーケットやデパートがあり、たくさんのお品物がおいてあります。また、町内には、衣料品やはき物・電気せい品・文ぼう具などの、せんもん店があまりありません。

少し遠いけど、となりの町のスーパーマーケットへ車で行くことがあるわ。一けんのお店にたくさん品物があるから、まとめて買えるわね。



休みの日に、遠くのデパートへ家族で出かけるときもあるよ。食りょう品売り場やおもちゃ売り場もあるし、いろいろな品物がいっぱいあるから、よく見てえらんでいるよ。

服などの着る物は、デパートやせんもん店へ行くとき品数が多いし、気に入った物がさがせるわ。



2 買い物のくふう調べ

(1) スーパーマーケットをたずねて

わたしたちの家では、いろいろな店で買い物をしていることがわかりました。家の人は店へ行ってどんな買い物のしかたをしているのでしょうか。

町内のスーパーマーケットの一つをたずねて、売り方や買い方のくふうを調べてみました。

まず、店の前に広いちゅう車場があることに気がつきました。



(店の前のようす)

お客さんは町内の人が多いのですが、となりの町からもよく来ます。車で来る人が多いので、できるだけちゅう車場を広くして、たくさんの人に来てもらうようにしています。



この店では、やさい・くだもの・魚などを、毎日、市場で仕入れてくるそうです。その他の食品やおかし・日用品なども毎日仕入れます。仕入れるときには、安くて新せんで、お客さんによるこんでもらえるような品物をそろえるようにしているということです。

また、店のおくで、まきずしを作ったり、フライやコロッケを油であ

仕入れるときは、お客さんのこのみを考えて、よく売れそうな物をそろえるようにしています。とくに、魚や肉・やさい・くだものなどは新せんうちに売ってしまうように気をつけています。ほかの食りょう品や日用品も、お客さんがひつような物をすぐ買えるように、いろいろなしゆるいの品物をそろえるようにしています。



げたりして、すぐ食べられるようにして売っているものもあります。

品物の入っていたはこや、品物にはあってあるラベルなどを集めて調べてみましょう。どこの生産地から品物が来ているかがわかります。

店の中には、いろいろな品物がしゅるいごとにならべてあります。その中から自由にえらんで、後でまとめてお金をはらいます。この店は、できるだけたくさんのお客さんに来てもらうためにいろいろなくふうをしています。品物のねだんをわり引きして安くしたり、毎週安売りの品物を決めて、ちらしでせんでんしたりするのもその一つです。また、お客さんの注文をうけて、家まで配たつするサービスもして、お年よりなどにもよろこばれているそうです。

では、お客さんは、買い物をするときにどんなくふうをしているのでしょうか。家の人やお客さんに聞いて調べてみましょう。

☆インタビューのしかたは、教科書4ページをさんこうにしましょう。



うちのお母さんは、新聞のちらしを見て買う物を決めてから行っているわ。

ぼくの家の人は、食べ物たべもののふくろやラベルの日付けを見なさいと、よく言っているよ。できるだけ新しい物を買うんだよ。



品物のあんないばんない板を見て買いたい物をさがしています。しゅるいごとにならべてあるので、えらびやすいです。

たくさんたくさんのしゅるいしゅるいの品物があるので、つい買ってしまいそうになります。よく考えてから買うようにしています。



(店のおくのようす)



(はこ集め)

3 工場しごとの仕事

1 ベアリング工場の仕事

(1) 工場について



学駅の近くにベアリングの生産をしている会社があります。一つの建物では、約25人が90台ぐらいの機械きかいを使って、送られてきた材料をけずっています。1か月に約70万個のベアリングをつくっています。せい品は、藍住町のベアリング会社を始めて、大阪やアメリカ、アジアへ送られています。

もう一つの建物では、約20人が機械きかいをつくっています。ここでは、非常に精密な機械せいみつ きかいを生産しています。値段の高い機械たかい きかいは約1500万円もします。2001年には、新しく、尿を検査する機械いりょう けんさ きかいも開発しました。

この会社は、市場町にも工場があり、約50人で1か月にベアリングを約400万個もつくっています。

(2) ベアリングについて

ベアリングは、いろいろな回転くわんてんをするものに組み込まれています。ベアリングは、軸じくが回る場所に使われており、ふだん見ることはありませんが、一軒の家庭にある機械類きかいるいには、何百個も使われています。



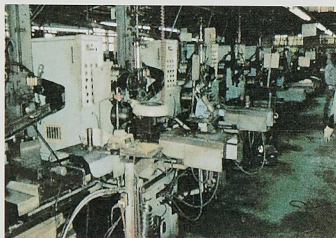
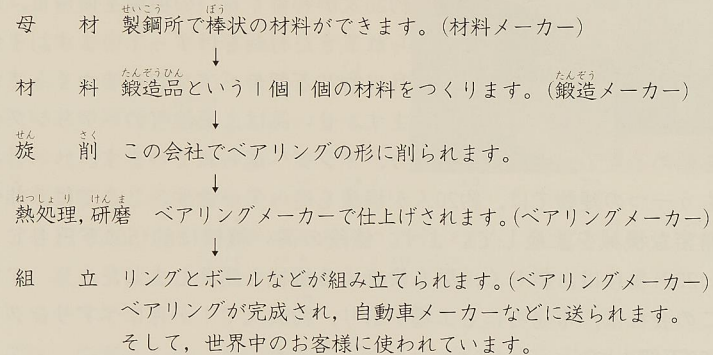
自動車には、1台に80個ぐらい使われています。エンジンは1分間に5000回も回っていますので、寸法は、1ミクロン単位せんぼう たんいという非常に精密なものです。(紙の厚みが80ミクロンぐらい)ほかに、洗たく機せんたくき、冷蔵庫れいぞうこ、クーラー、農機具にも多く使われています。また、ミニ四駆、テレビゲーム、ローラースケート、自転車などにも使われています。大

きなものは、トンネルをはる機械のベアリングで、7mもあり、小さいものは、パソコンのベアリングで、5mmしかありません。

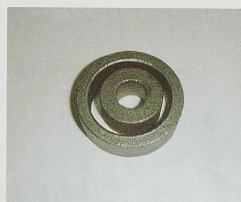
この会社で1年間に6000万個もけずられたベアリングは、世界中の人たちが自動車や電気せい品の中に組み込んで、使っています。ベアリングの値段は、1個30円ぐらいから、大きなものは1億円もします。

工場では、生産性の向上、品質の向上、原価の低減などの改善を毎日進めています。

材料から製品まで



旋削ライン



材料 (鍛造品)



製品 (旋削品)

2 けんざい工場の仕事

(1) けんざい工場をたずねて



三ツ島の国道に近いところに、けんざい工場があります。工場のまわりにある広いちゅう車場には、たくさんの自動車がとまっています。工場に入ると、せの高い木がたくさん植えられています。

この会社は、昭和50年につくられ220人あまりの人がはたらいています。工場では、主にホテルやマンションのドアをつくっています。注文によって、それぞれのホテルやマンションに合わせたドアをつくっています。そのたびに大きさや色や部品がちがうので、つくるのもたいへんです。ここで、全国のドアの五分之一がつくられています。

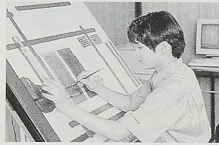
(2) ドアのできるまで

この工場では、新しい技術を取り入れ、火事の時にえにくい、すぐれた製品をつくっています。黒溶石という石を仕入れ、やいて発ぼうし、それに薬品をまぜて、かためてしん材をつくります。切って、おりまげた鉄板にこのしん材をはさみ、接着材でとめてドアをつくりあげています。毎日550本のドアがつくられています。こうしてできあがった製品は、全国各地へ送られています。

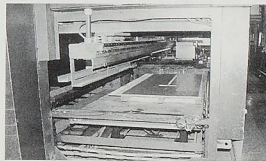
この会場では、毎月会議を開き、安くてよい品物をつくることに力を入れています。新しいデザインや技術を取り入れ、防火防音、さらに地しんにも強いドアをつくろうと研究しています。



ドアができるまで



設計する



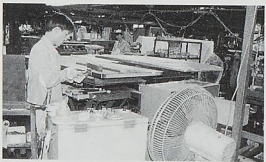
鉄板を切る



鉄板を
おりまげる



しん材を
はさむ

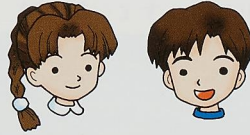


部品をつける

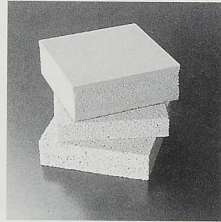


でき上がった
製品

どんなドアが
できるのかな。



コンピュータを活用して



しん材をつくる
(発泡した黒溶石・薬品)



マンションにとりつけられたドア

4 しぜんをいかした仕事

1 やさいづくり

わたしたちの町は、米づくり中心の農業ですが、さいきんでは、やさいづくりがさかんになっています。

野沢菜、チンゲン菜、ほうれん草、サニーレタス、大根、かぶら、なす、にんじん、エンドウ、にんにくなどそれぞれのきせつに合わせて、作物を育てています。

また、ハウスをつかって、きゅうりやいちご、トマト、花などを作り、きせつはずれにしゅうかくしています。ハウスさいばいは、ビニールをかぶせてハウスの中の温度を高くします。よい作物がたくさんしゅうかくでき、1年中、新せんなやさいを食べてもらうことができます。



2 あたご柿づくり

山の方では、あたご柿をつくっている家があります。



おじさんに話を聞きました



一番苦ろうするのは、5月から9月です。暑いから消どくをするのがたいへんです。11月から1月の中ごろまでは、しゅうかくしたり、出荷したりするのでいそがしいです。お客さんが「おいしい」と食べてくれるのが一番うれしいです。

☆ 農家をたずねて、作物づくりの様子を調べよう。

3 ぶどうづくり

町内では、ぶどうづくりもさか
んです。学島小学校ふ近から南の
方の山を少し上がった所まで、ぶ
どう畑がたくさん広がっていま
す。

この辺りは、今から45年ほど前
からぶどうづくりを始めました。

昭和37年から、かん光ぶどう園を開き、ぶどうがりをするようになり
ました。路地だけでなく、ビニルハウスも利用して、いろいろなしゅる
いのぶどうをつくっています。ぶどうはたいへんおいしく、ぶどうがり
のきせつには、かん光客がおとずれたり、電話で注文を受けて配達した
りしています。



ぶどう作りの一年

- 4月 開花期 ふさの整形(花つみ)をす
る。花かすを落とす。
- 5月 幼果期 よ分なふさを落としたり、
つぶをまびいたりする。
- 6月 ふくろかけ
- 7月
- 8月 収穫期
- 9月
- 10月 落葉期 葉が紅葉して、落ち出す。
- 11月
- 12月
- 1月 休眠期 整枝、剪定と言って、枝を
切り、ぶどうのたなにくく
りつける。
- 2月
- 3月 発芽期 根が動き出し、芽がふくら
み始める。



ぶどうがりの様子



ぶどうづくりに関する話

5 安全なくらし

1 交通事故をふせぐ

(1) 川島けいさつしょ

国道192号線にそって、川島城
から少し東の方へ行った所に、川
島けいさつしょがあります。

川島けいさつしょは、麻植郡の
3町1村(川島町、鴨島町、山川
町、美郷村)を仕事の区いきにし
ています。

けいさつしょでは、けい事課や
交通課などの、せん門の係に分かれて仕事をしていますが、大きな事け
んや事故が起きたときは、みんなが協力して活動します。

また、いつでも出動できるように、夜も交代できんむし、わたした
ちのくらしを守っています。

交通事故や事けんを知らせる110番の電話は、町内からかけても、す
べて徳島市にある徳島県けいさつ本部の通信指令室につながり、そこか
ら県下全いきへ指令が出るしくみです。それですばやい動きがとれるの
です。



川島けいさつしょ



しょ内ようす



パトカーに乗って

(2) 活動のようす



無線機でれんらくをとる

川島けいさつしょには、5台のパトカーがあります。ふだんは、町内外をじゅん回パトロールしていますが、事けんや事故のれんらくがあると、サイレンを鳴らしてげん場につけます。



登校時の交通指どうを行う



駅伝など行事の時に交通整理をする



交通キャンペーンのようす

春や秋の交通安全運動週間では、PTA交通安全母の会の方とともに、交通安全キャンペーンを行います。

川島けいさつしょ

けい事課

..... だろぼうや、さつ人などの事けんを調べて、はん人をつかまえたり、ぼうか団のとりしまりをしたりしています。火事の原いんも、しょうぼうしょの人といっしょに調べます。

生活安全課

..... 子どもの非行をふせいだり、町の人々がいろいろなはんざいのひ害にあわないように指どうしたりします。わたしたちの生活の安全をおびやかす、はんざいをとりしまったり、台風や地しんなどのさい害から、わたしたちを守ります。また、重要な人物のけいごにあたります。

けい備課

..... 道を安全に通行できるように、交通ルールやマナーなどを指どうしたり、交通い反をとりしまったり、交通事故のそうさを行います。

交通課

地域課

..... ちゅうざい所などを活動の中心にして、町の人々の安全を守るために町をパトロールしたり、家庭ほう問します。道案内をしたり、落とし物のとどけ出も受けています。

- ちゅうざい所
 - 川島町..... 1
 - 鴨島町..... 3
 - 山川町..... 4
 - 美郷村..... 2
- 交番 (鴨島町..... 1)
- 署所在地 (川島町..... 1)

川島けいさつしょのしくみ

(3) 児島ちゅうざい所

麻植郡内には、川島けいさつしょのほか、1つの交番と10のちゅうざい所があります。交番は、けいさつ官が来て交たいで仕事をする所です。ちゅうざい所は、けいさつ官が家族といっしょに住んで仕事をする所です。

川島町には、学の子島にちゅうざい所があり、受けもちの区いきの家庭などをほう問して、住民にはんざいの予防や交通事故防止を指どうしたり、住民がこままっていることや要望などを聞いて、明るい町づくりのためにがんばっています。

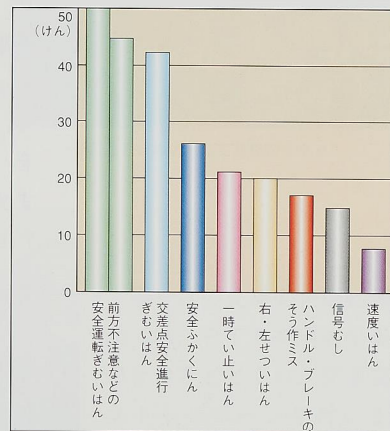


平成13年に新しくなった児島ちゅうざい所

(4) 麻植郡内での交通事故

こう目年	けん数(けん)	死者(人)	けが人(人)
平成6年	338	4	415
7年	321	6	388
8年	309	6	360
9年	326	10	415
10年	362	9	438
11年	364	8	458
12年	363	2	477

麻植郡内の交通事故のけん数と死者・けが人の数
(川島けいさつしょ調べ)



麻植郡内の交通事故のおもな原因
(平成12年川島けいさつしょ調べ)

(5) 交通事故ゼロをめざして

川島町内でも毎年交通事故が発生し、けが人や死者が出ています。

おそろしい交通事故をなくすために、川島けいさつしょでも交通とりしまりや交通安全についてのけいはつ活動に取り組んでいます。特に、春や秋、年末・年始などには集中して交通事故をなくす運動をくりひろげています。

ところで、町内の交通事故の原いんを、子どもの事故にかぎってみると、急なとび出しや安全のふかくにんが多いのです。そこで、川島けいさつしょと町内の各小学校とが協力して交通安全教室を開き、わたしたちが正しく道を歩いたり、自転車に乗ったりできるように教えてくれています。

しかし、交通いはんをしていないのに事故にあっている子どももたくさんいます。やはり、自動車を運てんする一人一人が、交通ルールやマナーを守って安全運てんすることが大切なことです。

また、各小学校には、交通安全母の会があり、PTAのお母さんたちが登校時に当番で交通指どうをしてくれたり、川島けいさつしょとれんらくをとり合せて、交通安全をよびかける運動にも力を入れてくれたりしています。交通事故ゼロをめざして、町や家族ぐるみで毎日とりくんでいきましょう。



学校で行われている交通安全教室

こう目年	けん数(けん)	死者(人)	けが人(人)
平成6年	49	1	57
7年	47	0	58
8年	55	1	65
9年	53	2	61
10年	72	1	93
11年	54	2	68
12年	58	0	71

川島町内の交通事故のけん数と死者・けが人の数
(川島けいさつしょ調べ)

2 火事をふせぐ

(1) 学校の消防しせつをさがそう

学校には、火事がおきたとき、それを知らせるためのせつびや、消火のためのいろいろな消防しせつがあります。



発信機



受信機



消火せん



消火せんの内
部



消火器



防火とびら



けむり感知器



なつ熱感知器

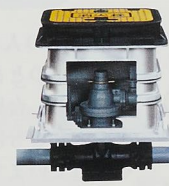
☆ どこに、どんな消防しせつがはいちされているのか調べて、学校の見取り図に書き入れましょう。

(2) 地域の消防しせつをさがそう

☆ 町のなかにも火事を防ぐために、いろいろな消防しせつがあります。学校の周りをたんけんして、まちの消防しせつをさがしてみましよう。



消火せん



消火せんの内
部



防火水そう



防火水そうのひょうしき



消火器



学校のプー
ル

☆ どこに、どんな消防しせつがあるのか、白地図に書き入れましょう。

川島町にある消防しせつ

- 消火せん174か所
- 防火水そう78か所
- プール4か所
- 川や用水4か所
- 池4か所

(3) 消防団って何だろう

川島町には、11の消防団があり、2台の消防ポンプ自動車と8台の小型動力ポンプ付積載車があります。

消防団のおじさんの話



消防団の人たちは、ふだんは自分の仕事をしていますが、火事的时候は、消防しよの人と協力して火事を消します。また、台風や大雨などのさいがいのときには、消防しよの人とともに、水害を防いだり、見回りをしたりして町を守っています。そのために、ふだんから訓練をしたり、消火に使う器具などを点検しています。仕事をしながら消防だんの活動をするのは、たいへんですが、「自分たちの町は、自分たちで守る」という考えでがんばっています。



消防自動車



消防団のかくのう庫



消防団のくんれん



出ぞめ式

(4) 消防しよをたずねて

① 消防しよのしくみ

川島町は、徳島中央広域消防に入っています。徳島中央広域消防は川島・鴨島・山川・吉野・土成・市場・阿波町と美郷村でつくられています。本部と4つの消防しよがあります。

徳島中央広域消防のしくみ

徳島中央広域消防本部

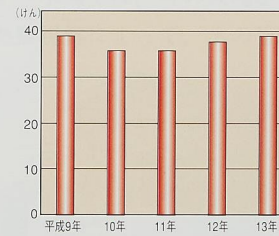
西消防しよ ・山川町 ・美郷村 ・阿波町	中消防しよ ・川島町 学地区 ・市場町	東消防しよ ・川島町 川島地区 ・鴨島町	北消防しよ ・吉野町 ・土成町
消防車 2台 救急車 1台 消防士 26人	消防車 2台 救急車 1台 消防士 26人	消防車 2台 はしご車 1台 救助工作車 1台 救急車 1台 消防士 29人	消防車 2台 消防士 20人



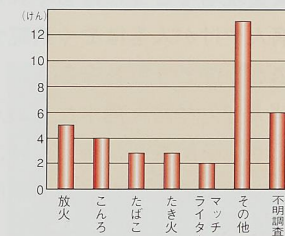
消防本部・東消防しよ



中消防しよ



地いきでおこった火事の数 (本部調べ)



火事をおこしたおもな原因 (平成13年本部調べ)

② 火事を消すしくみ

火事や交通事故を見つけて119番に電話をすると、それぞれの町を受け持つ消防しょの通信室につながります。

(川島町は東消防しょ)

119番を受けた消防しょでは、ただちに消防自動車を出動させます。火事の広がり方によって、ほかの消防しょからも消防自動車が出動します。また、消防団やけいさつしょ・電力会社・病院などにも連らくします。

大きな火事が起こったときは、まわりの消防組合と協力しあえるように、出動の約束をしています。



通信室 (中消防しょ)



消防自動車の見学

③ 消防しょのしごと

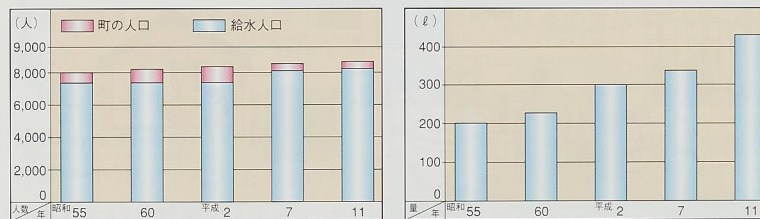
- ① 火事を消す。
- ② 火事の原いんを調べて、火さい予防に役立てる。
- ③ 火災現場などでにげおくれた人を助ける。
- ④ 病人やけが人はやく病院へ運ぶ。
- ⑤ 水がいのとき町を守る。
- ⑥ 消火せんや防火用水などの点けんをする。
- ⑦ 火さい予防を呼びかけたり、ひなんくんれんを行ったりする。
- ⑧ 人の多く集まるたて物の消防しせつの点けんをする。

6 健康なくらしとまちづくり

1 水はどこから

(1) ふえる水の使用量

学校や家など、町全体で使う水の量を調べると、1人1日約450リットルもの水を使っています。そして、その水の使用量はしだいにふえてきています。



水道を使う人口のうつつりかわり (平12.水道課調べ)

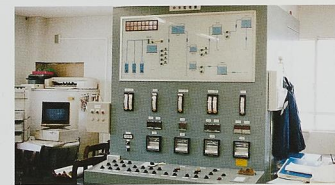
1人が1日に使った水の量のうつつりかわり (平12.水道課調べ)

(2) じょう水場

わたしたちが、毎日使っている水道の水は、吉野川近くの取水井(じょう水場にある)からじょう水池にくみ上げられ、飲み水にされ、ポンプで配水池に送られます。配水管を通して、各家庭、工場などへ送られます。町全体の水道管をつなぎ合わせると、150kmもの長さになります。じょう水場では、町の人々が毎日安心して水を使うことができるよう、中央監視盤によって、水の管理をおこなっています。

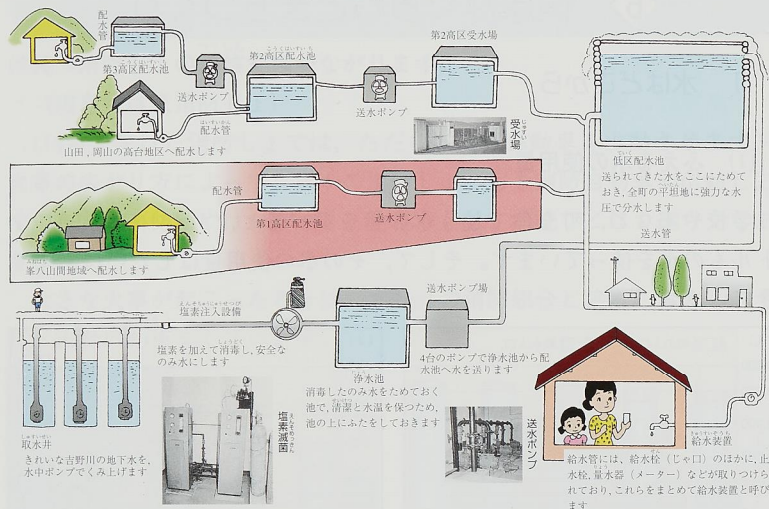


(川島町じょう水場)

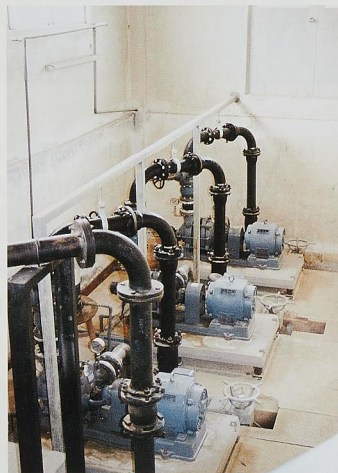
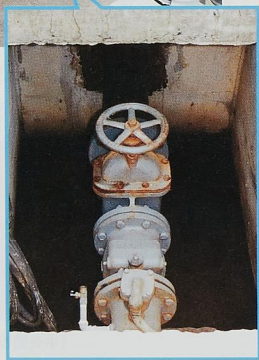


(中央監視盤)

川島町上水道のしくみ



(取水井と
その中)



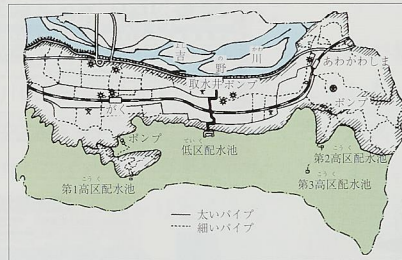
(送水ポンプ)

(3) 水道のはじまりとこれからの水道

川島町は、吉野川に近いので、むかしから、質のよい水にめぐまれ、町内の土地の低い所では、ほとんどの家に井戸があり、つるべや手おしポンプで水をくみ上げていました。夏は冷たく、冬はあたたかい、おいしい水をふんだんに利用していました。しかし、生活が向上してきたこと、産業が進んできたことなどで「町に水道を」という願いが出てきました。

そこで、川島町では昭和46年から上水道工事を行い、昭和48年6月に町内全いきに給水を始めました。そのため町の人々の生活はたいへん便利になってきました。

現在は、給水人口11,000人、1日に送る最高の水の量7,150立方メートル、1人あたり650リットルという計画のもとに、古い鉄管を取りかえたり、水の出る量の少ない所の工事を行ったりしています。



川島町水道配管図

水道水を各家庭にとどけるためには、多くの費用がかかります。また、水資源にもかぎりがあります。わたしたちは、水を大切に、節約するように心がけなければなりません。

☆考えてみよう



水を大切に使うためにできること



よごれた水を流さないようにするためにできること

よごれた水をそのまま流すと、川や海の水をよごしてしまいます。それを防ぐために、川島町では一部の地区で下水しゅり場が完成しました。しゅりされた水が、どのようなことに使われるか調べてみましょう。

2 ごみはどこへ

(1) ごみのしゅるいとゆくえ

わたしたちの毎日の暮らしの中で、いらなくなったものが、ごみとなって出てきます。みんなの家から出されるごみは、大きく5つに分けられます。



(しゅう集のようす)



(ごみしゅう集カレンダー)



(しゅう集袋)

役場では、ごみのしゅるいによって曜日を決めて、ごみを集めるようにしています。ごみを出しておく場所は決められており、係の人がしゅう集車で集めています。集められたごみは、中央美化センターにはこんで、しゅりしてもらいます。集める人や、しゅりをする人たちにめいわくをかけないよう、自分が出したごみは、自分できちんと分けて、きまりを守って出すようにしましょう。

(2) 中央美化センターをたずねて

① せいそう工場の役目

今から20年ぐらい前までは、ごみは各家庭で、あなの中にうめたり、もやしたりしていました。しかし、わたしたちの暮らしの中から出てくるごみは、量もしゅるいもたいへん多くなってきて、(中には、もやすと害のあるガスが発生するものもある。)各家庭でのしゅりができなくなってきました。

そこで、ごみをもやしたり、くだいたり、つぶしたりして資源を回しゅりし、また、いろいろな機械や電気の力を使い、ごみで自然がよれないようにするために、中央美化センターが造られました。

この中央美化センターは、阿波郡・麻植郡・板野郡の7つの町村が集まり、1年4か月の工事期間と、約10億円のお金をかけて作られました。

また、ダイオキシン対さく工事を行い、新しいしょうきゃくろが完成すると、山川町、板野町からもごみはがこばれてくる予定になっています。

② ごみのしゅりとくふう

もやせるごみ

中央美化センターには、1日に8時間運転して、35トンのごみをしゅりできるしょうきゃくろが2つあります。フル運転をすると24時間動かせるので、1日に94トンのごみをしゅりすることができます。



ごみをもやす順じよ



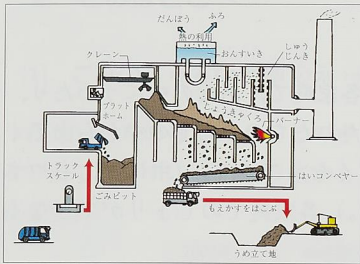
① 車ごとごみの量をはかる

② ごみピットにごみを入れる

③ クレーンでつり上げ、しょうきゃくろの中に入れる

④ バーナーで火をつける

○ しょうきやくのしくみ



しょうきやくろの中の温度は、750度から1,000度くらいになるので、ここに温水器をすえつけ、水を通すと、すぐお湯になります。そのお湯を工場の中を通過しているパイプで送り、事務室や会議室のだんぼうをします。また、手あらいや、お風呂のお湯にも使います。

もえないごみ

○ あっしゆくごみ (つぶせるごみ)

空きかんや鉄くずなどの金ぞく類は、機械であっしゆくされ、かためられます。空きかんは、アルミと鉄などに分けてあっしゆくされます。こうしてあっしゆくされたかんや鉄くずは、再利用するための工場に送られ、新しいせい品につくりかえられます。

また、ペットボトルも同じように、あっしゆくされて新しいせい品につくりかえられます。

再利用できるものは、できるだけ再利用するようにしよう。町もきれいになるね。

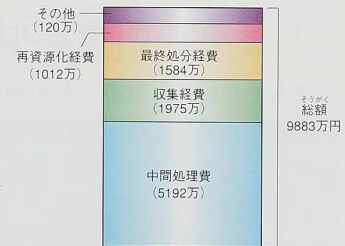
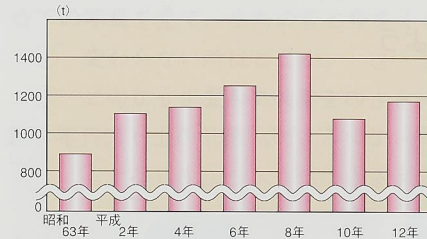


(あっしゆくしてかためられたかんやペットボトル)

○ はさいごみ (くだれるごみ)

ガラス、ビン、とう器、プラスチックなどは、大きな鉄のハンマーのまわっている機械の中に入れられ、こなごなにくだかれます。くだかれたごみは、もやしたあとのはいやかすといっしょに、うめたてしよりされます。

(3) ごみをへらすくふう



中央美化センターにはこびこまれるごみの量 (美化センター調べ)

川島町のごみしよりにかかる費用 (平成10年度中央美化センター調べ)

中央美化センターに、はこばれてくるごみの量は、平成8年までは、年々ふえていました。ごみをへらすくふうがされたために、少しへってきていますが、しよりするための費用は、たくさんかかっています。ごみをへらすために、わたしたちにできることを考えて、取り組んでいこうにしましょう。



☆小学校におかれた生ごみしより機



☆スーパーの回しゅう

☆川島町では、8月と12月に小・中学校を中心にはい品回しゅうが行われています。

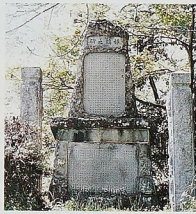
☆その他、どことなくふうがあるか考えて、実行してみましょう。

わたしたちにできること

7 昔のくらしとまちづくり

1 まちのむかしを見つけよう

まちを歩いて、昔のことがわかるものを集めてみましょう。
石ひや道具などのように形に残っているもの、祭りのように行事で残っているもの、まちには、昔を伝えるものがたくさんあります。



宮ノ島いてんのひ



あさな用水のきねんひ



川島小学校あとの記ねんひ



湯神楽



ししまい



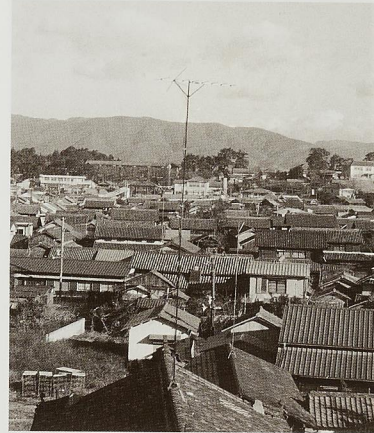
屋台

見つけたものをカードに書いてまとめてみましょう。また、石ひなどには年号が書いてありますから、年表にまとめるときのさんこうにしましょう。

昔と今の川島町

☆下の写真を見て、まちの昔と今をくらべてみましょう。

- ① 変わらない所はどこか。
- ② 変わった所はどこか。
- ③ どのように変わったか。



30年前の川島地区の町なみ



現在の川島地区の町なみ



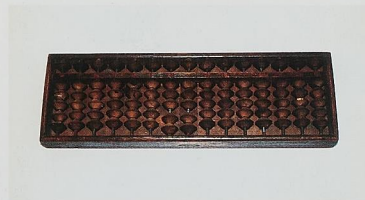
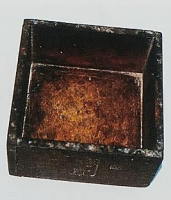
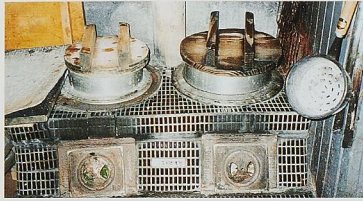
30年前の学地区の町なみ



現在の学地区の町なみ

2 昔の道具調べ

下の写真は、昔くらしに使った道具の写真です。どんなに使っていたのか、みんなで話し合ってみましょう。



わたしたちの家にも、昔くらしに使った道具が残っていることがあります。おじいさんやおばあさんに聞いたりして、さがしたりしてみましょう。

生活の中で使われていた昔の道具



3 ため池をつくる



(げんざいの大正池のようす)

川島町の東の方にある山田・岡山地区には、大正池という大きなため池があります。みなさんは遠足などでここをおとずれたことがあるでしょう。この大正池のほかにも、この地区には、いくつものため池があり

ます。これらのため池には、人間がつくった人工的な池が多くあります。大正池もその一つです。これらの池はいつ、だれが、何のためにつくったのでしょうか。



(山田にある塚池)

(1) 大正池のあるところ

山田・岡山地区は、ほかの地区にくらべて、高いおかの上にあります。そのため、もともと水が少なく、豊かな吉野川の水も引いてくることができません。また、吉野川ぞいの地方は、県の南の地方にくらべて雨のふる量も少なかったのです。

何百年も前の人たちは、昔からある小さなため池や谷川の水をせき止めてその水を田畑に引いていました。でも、少しでもひでりが続くと水がひあがり、いねに水をやることもできません。むかしの人たちは、雨ごいをして神にいのりしか方法がなかったといえます。山田にある水神のたきの一角には、おいのりするためのおそなえ物を置いたという岩場が今も残っています。



(水神のたき)

(2) 新池をつくる

今から数百年前は、さむらいが政治を行う時代で、年ぐ（今のぜい金のようなもの）として、お米を作っておさめなければいけませんでしたが。でも、水不足でお米が作れないと、農家の人だけでなく、すべての人がこまってしまいます。

そこで、この地区の人たちは、しょう屋（むかし村の世話をしていた村長のような人）とそうだんしました。その結果、もともとある池（古池）より、広くてたくさんのお水をたくわえられる新しい池をみんなで作ろうということになりました。これには、たくさんのお金や技じゅつが必要です。それで郡の役人に新しいため池をつくりたいと願い出ました。年ぐとしておさめる米がないとみんながこまるので、郡の役人もその切実な願いをききいれてくれました。ため池ができると年ぐがふえて徳島はん（今の県）もしゅう入がふえるので、はんからも役人がかけつ

けて協力しました。

今から約150年前に新しいため池づくりの工事が始まりました。近くの村々から毎日約350人を動かし、約1年後に完成しました。これが、新池とよばれているものです。これができたおかげで、この地区の人々は、水にもこまらなくなり、お米も安定してたくさんとれるようになったので大変よろこびました。

その当時は、今のようにすすんだきかいがなかったので、「じょれん」や「もっこ」などを使って、すべて人間の力で工事をすすめました。その苦労はたいへんなものです。

(3) 大正池とは



(水ぬきをした大正池)

今から約90年前、よりたくさん水を確保するために、新池のとなりにもう一つ新しい池をつくることになりました。この池が完成した年が大正4年だったので、その年号から大正池とよばれるようになりました。この池は水がいっぱいになると、となりの新池といっしょになって一つの池のように見えます。今は、これらの池を合わせて大正池とよぶことが多いですが、工事などで水ぬきをすると水底がよく見え、2つの池の区切りがよくわかります。

この大正池の水は、現在でも約150戸の農家が農業用水として使っています。山田・岡山地区には、約100年前につくられた古志田池（こしだいけ）や平倉池（ひらぐらいけ）、今から約60年前につくられた塚池（つかいけ）、源光寺池（げんこうじいけ）などさまざまな池があり、この地区の人々の水に対する強い願いがよくわかります。

(4) ^{みねはち}峯八のししがき

学島小学校からながめると南東の方の山に、高い所までたがやされた畑が見えます。

今から400年ぐらい前に、この土地に住みついた人々が山を切り開き、土地をたがやして新しく田や畑をつくったのです。

しかし、作物をつくっても、うさが豆を食べたり、しかや、いのしがいねや麦をあらすので、^{しやう}収かくは少なかったのです。

^{しやう}収かくをふやしたい農民たちは、このことで長い間こまっていたが、今から約190年ほど前に、土地の人々の協力によって、全長4kmにもおよぶししがき（けものをふせぐかき）がつくられました。

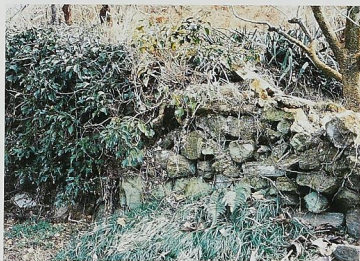
山の中や谷を横切り、石をつんだり木や竹を植えていったりという大工事でした。峯八山の神社のけいだいには、ししがきの記ねんひがありますが、ししがきそのものは現在残っておらず、そのあらしいものがわずかにわかるていどです。



ししがき建設記念ひ



ししがきの一部①



ししがきの一部②

8 川島町のいせきと自然

川島町は、美しい自然にめぐまれた歴史の古い町です。

今から2000年以上も前から、川島には人が住んでいて、生活していたようです。

石器（石の道具）や土器（土の焼き物）が発見されていることや、たくさんはいせきがあることなどから、川島町は徳島県でも古くから開かれた大せつな土地であったことがわかります。

また、広びろと流れる吉野川、みどり深い四国山地の山々、みのりゆたかな土地と、わたしたちの町には、むかしのままの自然が、たくさん残っています。



カントリーパーク（上桜）



銅たくが出た場所（城山）

いせきや自然は、人の手で作りだすことはできません。町には、文化ざい保ご委員会（文化保存委員会）があって、むかしから残されているものや町の自然をたいせつに守る仕事をしていています。

わたしたちの町はいせきや自然をもう一度ふりかえてみましょう。

川島町のいせきなど



とびがすの古墳

古墳は今から1400年ぐらい前につくられた大きな力をもっていた人のはかです。二つの横穴式円墳が残っている。



筆八の古墳

石の柱しか残っていない。



石風呂（天神）

古墳を石風呂として利用し、病気の人や、体の弱い人のために使われたようだ。



真福寺の板ひ（古城山）

今から600年ぐらい前につくられた川島町でもっとも古い石の板ひ。



大日寺の礎石（城山）

大日寺にあった塔の土台となる石といわれる。



大日寺あと（川島駅前）

今から約1300年あまり前につくられた県下でもっとも古い寺の一つであったところといわれている。



上桜城あと



城主・篠原紫雲のはか

今から400年あまり前まであったお城のあと。いくさで多くの人がなくなった。



ニツ森

神社があり、ふさんには大きな松もありむかしからながめの良い所として多くの人に親しまれてきた、いせきも多い。



川島古城山

上桜城がほろんでから北城がつくられたが落城、川島城としてつくられたが50年で城としての役目を終わった。



了慶寺あと

この寺で学問を教えたことから学の地名があったともいわれている。(学小南東200m)



朝鮮女のはか

朝鮮から連れてこられた女の人が多かったので、つくられたのはか、城の東にある。



林道感の石ひ (古城山)

川島城主道感について書いてある記念ひ、城の東にある。



一里松あとの道祖神 (三ツ島)

むかし一里松があった所で、道を行く人の安全をいのった。



工藤伊賀守形見のひ (ニツ森)

学島城主、工藤伊賀守がのこした歌が書いてあったとつたえられるひ。ニツ森の西入口にある。



美郷村と結ぶ堀割峠



川島城



川島公園



ニツ森公園

9 北海道仁木町と川島町

(1) 姉妹町として

北海道仁木町は、今から約120年前の明治12年11月、本町出身の仁木竹吉氏がひきつれる117戸、480名の人々が移住して開たくした町です。そのえんで、昭和49年5月に、川島町と仁木町は姉妹町の約そくを結びました。

その後、両町は小・中学生や青年などの親ゼンほう問や交かん会などを行い、友情のきずなを強くしています。



仁木町のようす (仁木町勢要らんから)

(2) 仁木町について

仁木町は、札幌の西約60kmの余市川ぞいにある町です。北海道にしては温だん、多しつの気こうで、北海道内有数の果物、野菜、米などの生産地です。

特に、6月下じゅんにはサクランボ、6～7月には北海道一の収かく量をほこるイチゴが、9～10月にはりんごがとれます。

また、その果物を原料に、ジャムやジュース、ワインなどの加工食品も作られています。

冬には、夜間しょう明やリフトを備えた町営のスキー場が開かれ、近くの町からもすべりに来ます。



仁木町のスキー場



小学生の交流会 (北の脇海水浴場にて)
地引きあみで南国四国の海を体験

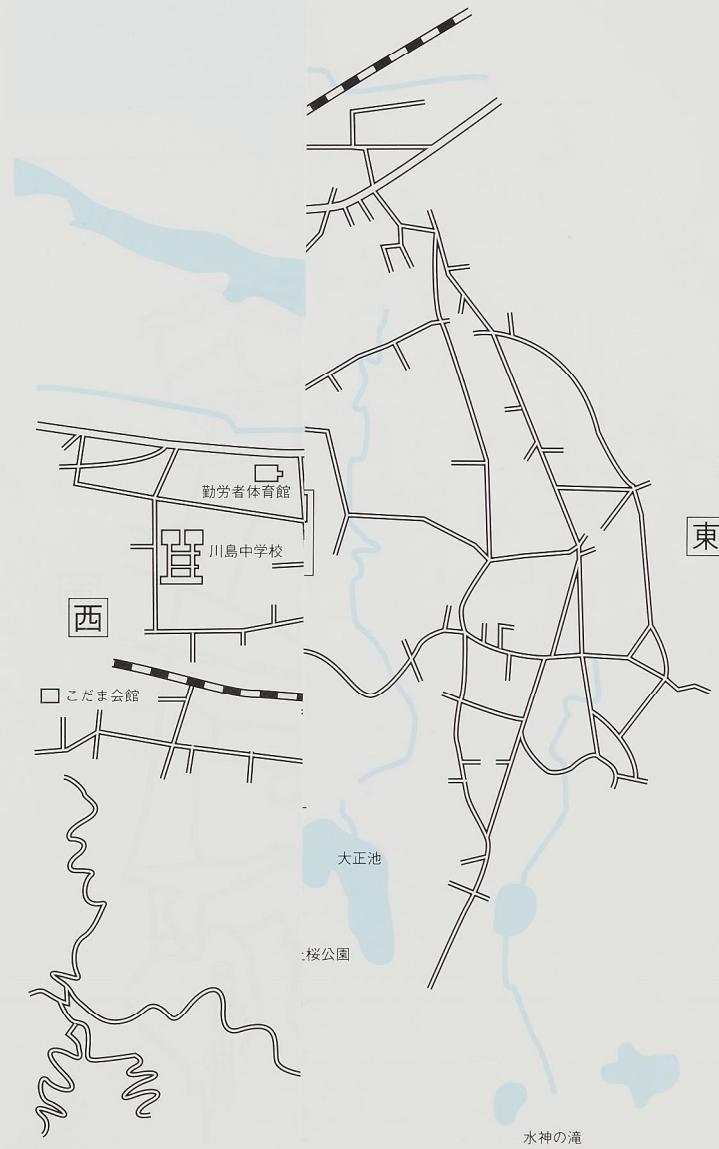


中学生の交流会のようす (仁木町にて)
(修学旅行で仁木町を訪れます)

わたしたちの町川島

昭和57年4月1日 第一版発行
昭和62年4月1日 第二改訂版発行
平成4年4月1日 第三全訂版発行
平成9年4月1日 第四改訂版発行
平成14年4月1日 第五全訂版発行

編集 川島町社会科副読本編集委員会
発行 川島町教育委員会
印刷 徳島県教育印刷株式会社





北

吉野川

川島城

勤労者体育館

川島町役場

川島中学校

川島合同庁舎

図書館

東公民館

川島幼稚園

川島高校

東

西

□ こだま会館

川島小学校

上桜城跡

保養センター

美化センター

大正池

上桜公園

南

水神の滝





阿波郡阿波町

北

阿波郡市場町

阿波麻植大橋

学島橋

吉野川

192

西

東

学島川

児島ちゅうざい所
学局

JA川島支部

老人センター

JR徳島線

児童館

こだま
会館

文
ぶどうセンター

三ツ森

麻植郡山川町

南





		小学校	
3年	組	4年	組
名			
前			